

質問	ソヴェエトの最初のトーキー映画の「人生案内」1931年作について知りたい。
回答	<p>1932年4月劇場公開。122分。 「ヴェネチア国際映画祭」第1回(1932年)最も素晴らしい監督賞(ニコライ・エック)</p> <p>・『キネマ旬報ベスト・テン85回全史1924→2011』キネマ旬報社(778キネ) P.23に、昭和7年の外国映画のベスト2として、「人生案内」が挙げられている。 監督、脚本 ニコライ・エック、撮影 V・プロニン 音楽担当者 Y・ストルリヤル 出演俳優ニコライ・バターロフ イワン・クイルラ 配給会社 扶桑商事</p> <p>・『映画大全集』メタモル出版(R778EI) P.390に「人生案内」の項目があり、ソ連初のトーキー映画、ヒューマン・ドラマと紹介して、あらすじが書いてある。</p> <p>・『写真で見る外国映画の100年 ②大衆芸術の花ひらく』近代映画社(778シヤ) P.37に、「ソ連のニコライ・エックが監督した「人生案内」は浮浪児たちの更生を描いた秀作である。」と記述がある。</p>
回答のプロセス	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・『キネマ旬報ベスト・テン85回全史1924→2011』キネマ旬報社(778キネ) ・『写真で見る外国映画の100年 ②大衆芸術の花ひらく』近代映画社(778シヤ) ・『映画大全集』メタモル出版(R778EI) ・『映画賞受賞作品事典 洋画編』ステイングレイ・日外アソシエーツ共編 日外アソシエーツ(R778EI) ・『世界映画大事典』監修 岩本憲児・高村倉太郎 日本図書センター(R778セカ)
備考	